

あけまして おめでとうございます

昨春以来、新型コロナ感染に振りまわされまして、活動グループによる雨岳文庫を同心円としました様様の活動が制約を受ける事態となりました。

本年が、どのような状況になるのか確実なことは分かりませんが、雨岳文庫内外での活動は、警戒心を持って感染予防対策を十二分にお願いいたします。新年号への挨拶としましては異色の内容ですが、早々に平穏無事の日々到来を願うので、お許しください。

令和3年1月

公益財団法人雨岳文庫 理事長 野崎 昭雄



Tさん、Nさん、Iさんが正月の玄関を飾ってくださいました。

皆様からのご寄附を活用して

公益財団法人雨岳文庫の事業は、国の登録有形文化財である山口家住宅などの歴史資料や周辺の自然環境の保全管理、調査研究、公開活用という公益目的事業と当財団の管理運営事業になります。

これらの事業を進めるためには皆様方からの寄附金は欠かせないものですが、4月から12月末までに119人の皆様から延べ131件のご寄附をいただいています。この中には、大山講の“はんてん”とアクリル板のご寄附も含まれます。誠にありがとうございます。

今年度はコロナの影響を受け、公開活用事業の多くが中止や延期になり来館者も少なくなっていますが、山口家住宅主屋やその周辺の修復などは計画的に進めています。保全管理に係る今年度の主な事業は次のとおりです。

箇所	内 容	工事費(概算)
前庭など	前庭・山の神様の植木手入	12万円
コタツノハヤ	室内の片付け、畳替え	6万円
オクの間	床の間、襖などの修繕	115万円
通 路	敷石、エントランスの修復、雨水対策	200万円
主屋屋根	破損個所の修繕	32万円
主屋周り	電線の地中化	125万円
主屋公開 拡大箇所	展示物の配置、見学ルート検討など	—

雨岳文庫周辺の生き物たち

雨岳文庫には比較的自然が残っており、秋



口には丸々と太ったタヌキをよく見かけました。

10月初め、山佐農園内に設置されているニホン

ミツバチの巣箱からハチミツを頂く『採蜜』が設置者の西村光男氏等によって行われました。巣箱の周りには、蜜やミツバチを狙って、ノコギリクワガタ・メンガタスズメガ・スズメバチなどもやってきていました。虫たちもみんな必死に生きています。なお、寒い冬の間、巣箱は保温のために藁などで覆われています。

「雨岳文庫を活用する会」の解散と今後

NPO 法人 雨岳文庫を活用する会

理事長 山口 匡一

10/31(土)の解散総会で、会員の4分の3以上の賛成を得て当会は解散しました。

当会は解散しますが、これは「公益財団法人雨岳文庫」に雨岳文庫の活動を一元化し活動しやすくすることが目的です。今後は、公益財団法人雨岳文庫が核となり、「友の会」を含む「雨岳文庫グループ」内の各団体が連携協力して活動を進めていくことになります。

(次ページの「NPOの立ち上げまでの経緯など」へ続く)

募集しています 山口家住宅の案内ボランティア

山口家住宅の公開にあたって、毎週日曜日にはボランティアの皆さんが当番を決めて案内や展示の説明などをしてくださっています。

様々な皆様に来館していただいておりますが、案内するメンバーが固定されており対応が難しくなっています。そこで、来館者の受付や案内をしていただける方を募集します。受付だけでも大変助かります。山口家住宅の来館者対応をお手伝いいただける方は雨岳文庫にご一報ください。

NPO の立ち上げまでの経緯など

ここで、記憶をたどりながら NPO を立ち上げるまでの経緯について少しふれておきます。

山口家文書の本格的な調査は神奈川県史編纂事業が最初だったと思います。その際、田中米昭氏、宮崎武雄氏等による伊勢原郷土史研究会のご協力もいただきました。一方で、それ以前の S20 年代後半より、当時県立高校の教員だった大畑 哲氏が、休日には朝から夕方まで、たった一人で蔵に入って自由民権関係の資料を熱心に調査されていたことが懐かしく思い出されます。

S40 年代には幾徳工業大学（現 神奈川工科大学）による調査が行われ、またその頃、伊勢原市史編纂室の足立貞一郎氏が、襖に書かれた中島湘烟の書や安田米斎の襖絵に気づかれたのをきっかけに、伊勢原市史編纂委員だった丹羽邦男氏等の手で予備調査が行われました。

次第に山口家文書の貸出の機会が増えてきたこともあり、県立公文書館の樋口雄一氏や前述の民権研究家 大畑 哲氏等と、山口家住宅および山口家文書を保全、調査研究する目的で、H4 年に私的団体「雨岳文庫」を立ち上げることになりました。なお、『雨岳』とは、山口家 8 代目当主山口左七郎の雅号で、大山（雨降山）のことです。

H10 年に、建築士の中山 章氏や当時文化庁の大和 智氏からのご示唆とお力添えによって山口家住宅が登録有形文化財に登録されたことを経て、平成 18 年、雨岳文庫所蔵資料の滅失や散逸を防ぎ後世に残すために、所蔵資料の保存、調査研究と活用を目的とした「NPO 法人 雨岳文庫を活用する会」を立ち上げるに至りました。命名は自然塾丹沢ドン会の理事長 片桐 務氏によるものです。

その当時にお世話になった団体を思い起こしてみると、およそ次のようだったと思います。

◇建物・文書資料の整理、調査研究、展示…県立公文書館、伊勢原市史編纂室、神奈川工大、アド・おおやまみち、東海大学小沢朝江研究室

◇歴史講演会、文化講演会…県立公文書館、伊勢原市文化財協会

◇体験型イベントなど…雨岳文庫クラブ、自然塾丹沢ドン会、東京農大、いせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会、おはなしばる〜ん、東海大学小沢朝江研究室、伊勢原市教育委員会、伊勢原市市民協働課、各種イベント団体

その後、NPO 活動の充実に伴い、ガイドの会・民権の会・自然の会が次々と立ちあげられ、公益財団法人の設立へと進んでいくことになります。

以上のように、当会が発足する以前から現在まで継続して関わっていただいている方々、大きな節目でご助言やお力添えをいただいた方々など、多くの皆様のおかげで今日まで幅広い活動を行うことができました。

お一人お一人のお名前をここに記すことができないことについて、お詫びを申し上げるとともに、公益財団法人雨岳文庫理事長の野崎昭雄氏をはじめ、これまでお力添えをいただいた多くの個人や団体の皆様に深く感謝申し上げます。

冬から春の事業 いろいろ 誘い合ってご参加ください！

◆文化財ウォーク（雨岳ガイドの会）

【日時等】

- ・2/20(土)「青山通大山道(海老名～厚木)」
 - ・3/20(土)「愛甲石田から下糟屋/文化財の道を歩く」
- いずれも、9 時～14 時半

＊詳細は雨岳文庫 HP や市内各公民館などに置いてあるチラシでご確認ください。

◆第5回 湘南社 民権散歩（雨岳民権の会）

【日時等】3/27(土)9 時～15 時半「秦野方面」

＊詳細は雨岳文庫 HP などでご確認ください。

◆梅園などの開放（山佐農園・雨岳文庫クラブ）

【期間等】1 月中旬～3 月、10 時～15 時

＊山口家住宅にお越しの際は、早春の梅の花や菜の花も合わせてお楽しみください。

夏から秋の活動等の報告 新しい生活様式の中で・・・

山口家住宅リフレッシュ計画

◆金砂子(金箔)の輝きが戻る

書院造りの「奥の間」の床の間、脇床、襖の修繕が行われました。痛みの激しかった表装も職人さんの手によって汚れが落とされ、下部に散りばめられた金砂子（金箔）は光を受けて美しく輝くようになりました。ぜひ一度、山口家住宅にお越しください。

なお、修復作業の様子や職人さんから伺った説明などはホームページに詳しく載せていますので、ぜひご覧ください。



研究・研修や学習の場

雨岳文庫では、所蔵資料の整理や古文書の調査研究などを行っています。また、一般の方が参加できる学習の場も用意しています。

◆第6回 湘南社 民権講座 (雨岳民権の会)



10/31(土)に行った「第6回 湘南社 民権講座」は通常とは趣向を変え、コロナなどで閉塞感のある世の中を

明るく笑い飛ばし参加者に元気になっていただきたいという思いで、『現代の自由民権を歌う』と題して、カンカラ三線・演歌師の岡大介氏をお迎えしました。明治の自由民権派の演説を政府から禁じられたため、演説の代わりに「オッペケペ」節で社会風刺を歌い、世に訴えたものです。なお、最後に歌われた『湘南社ソング』は雨岳民権の会のIさんが作詞をし、岡氏に歌っていただきました。現在、YouTube に動画がアップされています。

今回は、コロナ対策で参加者数を抑え、一般20人、会員21人でした。土間の観客席や室外の立見席を設けるとともに、演者と聴衆の間にはビニールの幕を設置しました。また、横浜の会員の方からアクリル板などをご寄附いただき、受付場所で使わせていただきました。

◆文化財ウォーク (雨岳ガイドの会)

中断していた「文化財ウォーク」が9月より再開されました。参加者全員の検温、消毒、マスク着用、対面時の距離の確保などの対策をとりながら行っています。

●9/19(土)、『上粕屋(雨岳文庫)周辺』は、27人の一般参加者とスタッフ12人で行いました。太田道灌ゆかりの五霊神社では新たな発見もあったようです。

●10/17(土)、『岡崎城址とその周辺』は寒い雨天でしたが、40人(一般28人、スタッフ12人)が元気良く史跡を巡りました。今回は特に串橋の歴史探索グループ7人の方に参加いただきました。紫雲寺のご住職のご厚意で本堂に上がらせていただき説明をいただく機会にも恵まれました。

●11/21(土)の『池端から下糟屋』は、小学生を含む一般37人とスタッフ12人で小春日和の中を歩きました。平安時代末には下糟屋に「糟屋荘政所」が置かれ、西相模全体の政

務を統括したそうです。また、鎌倉時代から室町時代前半には糟屋有季が、室町時代後半から戦国時代には太田道灌が活躍したと思われる「丸山城」、江戸後期にロシアからの圧力回避と北の大地の安寧を願い蝦夷地に向かった僧たちの苦難の歴史など、この地の様々な歴史にふれることが出来ました。

●12/19(土)、51人(一般40人、スタッフ11人)が3班に分かれ、『金目観音とその周辺』を訪ねました。文化財の宝庫・金目観音、源頼朝の旗揚げ時の伝説の勇者・真田与一ゆかりの地、熱心な自由民権運動と地域の学校教育の原点となる地です。与一堂では、源頼朝旗揚げの戦いで若き与一と共に無念の最後を遂げた陶山文三のご子孫の陶山氏から直接ご説明をいただく幸運にも恵まれました。

雨岳文庫の施設や環境の利用

雨岳文庫や山口家が所有する施設・環境などを友好団体に貸し出し、さまざまな活動やイベントに利用していただいています。

◆校外学習 (伊勢原市立比々多小学校)

10/16(金)、地元の小学校の皆さん50名が来園されました。今年はコロナの関係もあり短い時間となりましたが、イモ堀り、栗拾い、落花生採り、木登り、虫取りなど、普段



の生活では経験できない活動を、広々としたオープンスペースの山口家の梅林と畑で行いました。久々に巣ごもりから解放され、思い思いの時を過ごせたようです。

◆伊勢原の文化や自然を大切に! (雨岳自然の会)

雨岳自然の会では、大山山麓の伊勢原の生活文化や自然環境を大切に、自然と土と作物と花と生物に親しむ活動を行っています。

10/18(日)、西富岡の畑で採れたご馳走で、秋のイベント『収穫祭』を楽しみました。

12/6(日)には、米麴ともち米を60℃で醗酵させ20時間ほど置いた甘麴を使い、大倉大根の『ベッタラ漬け』の本漬作業とともに、練馬大根は沢庵にするために干しました。

本漬けから2週間後の19日(土)、いよいよベッタラ漬けの樽開けです。今年は特に美味しくできたようです。お裾分けいただいたベッタラ漬けは最高の味でした。

◆林家たけ平独演会 (厚木たけ平の会)

12/12(土)、真打 林家たけ平師匠による
落語『暮れに聴く人情噺』が行われました。



博打に明け暮れた父親の改心劇が、様々な登場人物が織りなす人間模様とともに機微を交えた語り口で語られ、聴衆が引き込まれた1時間でした。

コロナを警戒し、人数制限とともに、高座と聞き手13人がそれぞれの距離を保った中で開催されました。

伝統文化の継承

◆菰(こも)巻き

立冬の翌日、前庭の松の木の『菰(こも)巻き』が、元県立平塚技術学校講師の瀬戸隆志氏によって行われました。

結び目や巻き方は伝統に基づいています。
立冬に菰巻きを行い、啓蟄に藁を外し燃やすのを目安としているそうです。

菰巻きは藁の中に産み付けられた虫の卵を駆除するのが目的ですが、雨岳文庫の藁には殆ど卵は無く、むしろ「風習の継続」という思いで行っているとのこと。

これからの活動予定

2021.1.1現在

雨岳文庫では年間を通して施設や敷地などを開放し、研究や展示、学習会などの様々な公益的な活動を行っています。1月以降の「友の会」の会員や一般の方が参加可能な活動などをご紹介します。(天候やコロナなどの影響により予定を変更する場合があります。雨岳文庫HPなどで適宜ご確認ください。)

期 日	行 事 名	主催・担当	時刻など	参加費	申込方法など
1月中旬 ～3月	梅園、菜の花畑の開放	公財、山佐農園 雨岳文庫クラブ	10:00 ～15:00	無料	申込み不要
2 20 土	文化財ウォーク 「青山通大山道(海老名～厚木)」	雨岳ガイドの会	9:00 ～14:30	500円	メールor電話 先着40人
3 20 土	文化財ウォーク 「愛甲石田から下糟屋 文化財の道を歩く」	雨岳ガイドの会	9:00 ～14:30	500円	メールor電話 先着40人
27 土	第5回湘南社民権散歩(秦野)	雨岳民権の会	9:00 ～15:30	500円	メールor電話
4 17 土	文化財ウォーク 「青山通大山道(上粕屋～大山)」	雨岳ガイドの会	9:00 ～14:30	500円	メールor電話 先着40人
30 金	林家たけ平独演会	古典芸能を守る会 厚木たけ平の会	13:00 ～14:30	前売り 2000円	予約は電話にて ※友の会の割引あり

★上記以外の定期的な事業・活動

- 【山口家住宅及び資料館の公開】…通年(10:00～15:00、年末年始・お盆を除く)、毎週日曜日は案内付き(団体・平日の見学は要予約) ※雨岳文庫資料館での企画展は準備中
- 【山口家文書などの整理】…毎週金曜日
- 【山口家住宅総点検(調査・研究、建物のメンテナンスなど)】…毎月第3月曜日
- 【古文書調査会(講読会)】…毎月第2金曜日(14:00～16:00)
- 【雨岳文庫クラブ】…山口家住宅周辺の環境整備など: 毎月第4日曜日
- 【雨岳ガイドの会】…定例会: 毎月第1土曜日、企画会、ウォーク下見 ほか: 随時
- 【雨岳民権の会】…定例会など: 毎週金曜日
- 【雨岳自然の会】…畑の耕作など 連絡先: 「ugakusizen@gmail.com」 「田中: 080-9705-3553」

調査研究成果物などのご案内

◎「戦前・戦中の農業改革と山口左右平」～産業組合中央会から帝国議会議員へ その事跡と時代～

*津田政行/山口匡一共著 *夢工房発行 *本体2000円

◎ガイドシリーズほか *雨岳ガイドの会 *各500円

- ①上粕屋村の地代官「山口作助」出府の道を歩く ①大山寺と阿夫利神社
- ②大山道合流、道灌ゆかりの地下糟屋・上粕屋 ③大山の門前町
- ④水陸交通の要所・厚木と渡辺峠山 ⑤開村400年の伊勢原(2月発行予定)
- ⑥海からの大山道・須賀と平塚宿 ⑦中原御殿と平塚からの大山道
- ⑦日向薬師とその周辺 ⑧池端から下糟屋 文化財の道を歩く
- ⑧金目観音とその周辺

◎新聞連載

- 信仰と行楽の旅「柏尾通大山道」 *神奈川新聞(地域総合) 毎週木曜日 *雨岳ガイドの会
- 日本遺産「大山詣り」の道を歩こう *伊勢原タイム 毎月第3金曜日 *雨岳ガイドの会

問い合わせ、施設利用・見学申し込み先・・・公益財団法人雨岳文庫 事務局

Mail: sajiemonugaku@bmail.plala.or.jp Tel: 0463-95-0002